

広島県の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました

令和6年3月12日、広島県の家きん農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました（今シーズン国内10例目）。

【発生概要】

令和5年シーズン事例	所在地	用途	羽数
10例目	広島県北広島町	採卵鶏	約8万羽

生産者、関係者の皆様は、発生予防のため、特に下記項目の確実な飼養衛生管理に努めてください。また、本病早期発見/まん延防止のため、「まとまった場所での家きんの死亡」、「死亡率増」、「産卵低下」等異状を認めた場合、すぐ当所へ通報願います。

記

- 衛生管理区域及び家きん舎に立ち入る際の手指消毒
- 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置、使用
- 衛生管理区域に入る車両の消毒
- 家きん舎ごとの専用の靴の設置、使用及び交差汚染の防止
- 野生動物の侵入防止のため、防鳥ネット、壁や屋根の破損の修繕
- ねずみ及び害虫の対策

更なる予防

- ★ 家きん舎や堆肥舎への野生動物等誘引防止のため、死亡家きん、廃棄卵、排せつ物、餌等を十分清掃する
- ★ 消毒薬の適切な濃度調整、作用時間確保、消毒対象の汚れ除去
- ★ こまめに鶏舎周囲に消石灰を散布し、上から散水/噴霧する
- ★ 野生動物等の家きん舎への侵入防止のため、夜間に鶏卵運搬口及び鶏糞排出口を封鎖する
- ★ ウィンドウレス鶏舎の空気流入口に目の小さなネットをつける（目詰まりによる換気不足には注意してください）

長崎県県南家畜保健衛生所 TEL：0957-68-1177
 防疫課メールアドレス：s11350@pref.nagasaki.lg.jp
 ※土日祝日の休庁日は上記の電話番号に連絡をお願いします。